明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙 (一)金一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五
定價 (二)金貳圓▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前
金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告 (一)五十錢▲五號活字十七字詰一行一圓金
料金 (二)五十錢▲新聞欄特別廣告五號活
字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太郎
印刷人 松久神一郎
京城西署四小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年三月十五日 (日刊) 月曜日 (第三百五十七號)

滿洲小麥の輸出

北鮮新一帯の地は元来穀倉たる小麥は平壤鎮南浦に至るまで滿洲産の小麥に駆逐されたるに拘らず新滿洲市場に於ては日露戰役以後に於ては日露戰爭の結果より我國等へ一二千噸の輸出をなしたるに過ぎずしも昨年来露清の不作は滿洲市場の小麥價格を騰貴せしめ遂に結果三井物産會社は過早く滿洲小麥を買入れ昨年中に於ける輸出高の為にも既に八千噸内外を輸出したる頃も亦静かに輸出したるに過ぎずと云ふ且大連より之に匹敵する輸入の輸出したる分を加ふるとき以前年中に於ては滿洲小麥輸出高は一萬一二千噸に上るべく滿洲小麥輸出は一時は本年に於ては三千噸の輸出を為さざるべからざるもと云へば新麥の出廻り後にはは向二萬噸内外の輸出あるべく我國へも本月末の便船にて二千噸許り輸入さるべきなるが滿洲小麥の品質は米國麥に比して色黑けれども粘力あり且つ味美にして麵類糊等の原料として適當なりとも一般に賞用され其價格も目下百万四圓八十錢石に換算して十一圓六十錢内外なれば日本小麥の十二圓八九十錢なるに比すれば著しく廉價なりと云ふ

河南大豆と大連

獨逸が極東の經營特に滿洲の經營に向つて苦心しつゝある事は内外人共に認むる所なるが青島港灣の修築、山東省内鐵道の經營、青島大學の開設等總ての方面に向つて着々其の歩を進めつゝあり或は以上獨逸の山東省經營は經濟的に大失敗にて青島に於ける經營者は常に本國より非難を受けつゝありと然るに昨今耳にする所によれば青島濟南道を利用し青島港の盛大を計らん爲黃河の便を利用して河南省産の大豆を青島港より海外に輸出する計畫なりと由来河南省の平原に産する大豆は昔日露戰爭に際し牛莊より滿洲大豆の輸出閉止の際漢口を經て日本に輸出せられたる事ありその品質は多少滿洲産よりも劣等なれどその價低廉にして優に滿洲産大豆と競爭を爲し得るも如何せん運賃の関係により海外輸出の競爭に堪へ得ざりしものなるが今後青島を經て輸出する爲すに至らば平天以北の大豆と大連より輸出するよりも運賃に於て優に十五パーセントの減少なれば大連と競爭して勝算十分なりと云ふ且大豆の品質も需要の増加と共に漸次改良を加へらるゝは當然にして此の計畫にして實行せらるゝ時は大連貿易に大影響を受くるに至る可きか

京義鐵道の暴徒詳報

最近京義線鴨井驛附近に出現したる賊徒に關し軍司令部に達したる詳報如左

賊は昨魁李鎭龍、韓鎭貞の率ゐる八十余名の集團にして二隊となり二月三日午後二時鴨井驛西北一里の堂国に集合せり先遣温井院分道所上等兵以下六名は捜索行動中前記の時刻に堂洞に於て賊團と衝突戰三十分にして一旦鴨井驛に引揚げ應援を求め耕城憲兵隊より曹長以下九名と三時十分發列車にて出張せしめ更に雜助員三名を增加し長端分道所より上等兵一出張せり斯くて增援せる下士以下九名は岑城の西方一里の地點に於て賊と衝突之れを擊退し賊は二隊となり逃走せしが我增援隊の來援を待ち之を殲滅する目的を以て鴨井北方一里の線鴨綠線路に石を置き北方列車の股線を計りたり(既報)

同夜賊團は兩合里の南方一里の地に宿泊中兩合里分道所憲兵四名は之れを夜襲し賊十を殺し銃五刀一を鹵獲し賊は市邊里新溪間の地區に潛伏せり其後賊は憲兵隊、守備隊、警察署より出せる連合捜索隊に追はれ五十名に減じ五日午後四時岐嶺(平山新溪の中間)を兎山郡に向ひ逃走し我捜索隊は三隊に分れて追跡せしが八里迄に達せる情報を綜合するに賊は新溪若くは谷山方面に逃れしもの〻如し

江原道の情況

江原道三涉管區長よりの報告に依れば同地方一般の情況左の如し

△賊情 賊魁郭敬泰は目下二十餘名の部下を率ひて各兵器を所持し蔚珍郡の西部及び英陽奉化縣地方に出沒し彼の部下は三四名宛に分れて民財を却掠しつゝあり故に蔚珍の西部及び英陽奉化郡地方は今猶は不穩にして此地方は賊徒の勢力範圍たるが如く土民は官憲に對し賊情を密告せざるのみならず其被害の屆出すら嘗常になさず其捜索は非常に困難なり而して是れ必ずしも官憲を優厚してなさゞるにあらず賊徒の復仇を避るる故なり土民は常に曰く「憲兵に虐害を云ふも喰食料を以て比賣せられるに過ぎず賊徒に至りては直ちに殺害せられる恐れあり」と以て其の民情を察知せらるゝ時は大連貿易に大影響を受くるに至る可きか

▲納稅情態 二月末までに財務署へ納金したるは前稅四分の一、烟草稅六分の一、地稅十分の一にして本年度納稅期なるにも拘はらず不成績なること驚くの外なく尤も人民は既に納附したる面長又は領收員の手元に停滯するものも多きが如し徵稅の方法は市場に監理人を置き之を巡回せしめて徵收するを以て商民は監理人の目を窃みて脫稅する者多く徵收方法を改正するにあらざれば不行屆たるを免かれず

▲宗教情態 此地方は以前弗教の盛なりし所にして寺院の如きも現に六個あり之等も今は信徒なる者殆んどなく之に反して耶蘇教は漸次各地に瀰漫し管内に於ける信徒は昨年三月に比して七十八人を増加し宣教師は米國人の由なるも未だ來らず若し之が來り布教に從事せば其勢力を得ること愈々大なるべし今より想像に餘りあり

地方通信

▲平壤通信

▲平壤義勇團調査 過般當地に編成せられたる義勇團の調査方を命じ來たるを以て統監府にては直ちに之れを管理部廳に移牒したり又管理部廳よりは當民團役所に其取調方を依頼したるを以て民團役所にては當時團員の一人にして能く其事情に通ぜる佐佐木芳松氏に就き昨日詳細取調べんとしたるも佐々木氏は又當時義勇團長として該團一切の任に當りたる眞藤義雄氏に就き取調ぶるの至當なるを主唱し其取調方增當の民團役所にて其藤氏方に赴かしめたるも氏は目下眞藤氏に就き事件の顚末を取調つゝありと

▲南浦の水道事業 南浦の水道事業に關しては其の設計書及び關係書類は既に當該當局に廻送し新に切り詰めに切詰めて總費額約八萬四千六千圓を定めたるが調査費約二千圓を要する見込なり

▲鎭南浦の水道 鎭南浦の水道は目下調査中にて水源の高さ海拔百五十尺餘にして水量は尺三寸より以下八寸位とし三和擔者地より南浦に導水延長は千七百八十メートル約四里半にして水源の高さ海拔百五十尺餘にして

シガー、ブドウ酒、ブランデイー、洋菓子、果物カン詰類、ウヰスキー、シガレット、シャンピン、キリンビール、タンサン 卸小賣

東京電報

▲日露連絡の會議

日露連絡貨物會議は愈五月上旬開會に決し議場は藤田部長病氣全快次第理事及び鮮總理事を隨へ露都に赴くべく各種貨物賃率は既に日本側の具体的案殷稿せり（十三日）

▲大演習地の決定

今秋の陸軍特別大演習は愈〻來十月上旬岡山縣に於て擧行のことに決定し奥參謀總長より各師團長に內達ありたるが東軍司令官は教育總監大島大將西軍司令官は東京衛戍總督川村大將に暴定したりと（同上）

又新會の現狀維持

國民黨に投じたる以外の又新會代議士は十九名にて內山口熊野、小川平吉の二氏は近々政友會に入黨すべく殘余十七名は花井卓藏、加藤藤逸氏等を中心として又新會の名稱の下に現狀を維持することに決定したり（同上）

貴族院選擧法改正

會我祐準子爵は伯子男議員選擧法に單記制を採用すべしとの建議案を提出せり（同上）

▲鐵道院の貨物規定

鐵道院にては今回貨物種類を總て重屯二千二百四十噸にて採用することに決し四月一日より實施する筈なり（同）

▲漁夫の行衛不明

東京地方にては十二日晩三時頃より降雪わり六時頃には三寸計りの積雪を見たるが七時頃に至り近來稀なる吹雪となり一時電車の運轉を中止したるが正午頃より小歇となりたるも電信電話には多少の被害ありたり尙ほ同日房總沖の暴風雨には同日出漁中の漁船百三十艘乘込の漁夫六百餘名は行衛不明となり其の筋にては急報に接し水雷艇四艘其の他多數の汽船を急派し捜索中なり（同上）

▲貴族院議長の交際費

貴族院議長交際費二萬五千圓は前田子爵の發議にて桂首相の同意を得て十四名の相談役を置き交際費を要する問題の發生毎に協議決定のことに決定したり（同上）

▲五百木良三氏渡韓

朝鮮問題同志會員五百木良三氏は十三日午後二時半新橋發京城に急行せり（同上）

▲倉谷鑛山の椿事

石川縣犀川村字倉谷地方は積雪數尺に達し倉谷鑛山の飯場一棟俄然雪崩の爲めに崩壞し坑夫二十四名埋沒したるが直に堀り出したり男女合せて十三名即死し他は重傷を被れり（十四日）

歐洲電報

▲露國海軍の醜態

露海軍の醜狀は又もや暴露されたり即ち海軍造船所オブスラ製砲所及イヴヴオルスク製甲板製造所と更に驚嘆せしむべき百萬圓を要求せる海軍大臣の覺書議會に提出されたるが之に依る時は右工場は現狀の下に在りては四隻のドレットノート型戰艦を竣工せしひる能はざるを示せり總理大臣ストリビン伯は始め右四艦を四箇年に竣成せしひるを約したるが右工場を新式有効ならしひるには今後約十箇年間に二千七百萬圓の經費を要し都合よく行くもドレッドノート型戰艦を竣成せしひるには七箇年の日子を要すべく而も其竣成の暁には巨艦は既に舊式に屬し用を爲さゞるべしと（十三日着）

墺國皇帝の臨御

維納市長ドクトル ヒュル氏は近去し墺國皇帝は諸太公と共に其の葬儀に列席すべし（同上）

獨逸宰相の訪問

獨逸宰相は耶蘇復活祭には羅馬に滯在し三月二十二日と以て伊國皇帝に謁見すべし（同上）

浦鹽電報

浦鹽要塞の不備

極東報は又極東の現狀と題し沿海州に現在の二倍即ち四個師團十萬の兵を維持せずんば領濱地を後員加爾に置くの今日到底日本兵の上陸に備へ難しと（浦鹽要塞の不備を暴き冷罵を加へたり（十三日着）

雜報

安重根の懺悔談

（ウイル、ヘルムの談）

仁川港に一昨十三日大連より入港せし安東丸にて憲に伊藤公を暗殺したる安重根の洪神父ウイル ヘルム氏來仁せり氏の親しく語る處に依れば本月二日安重根の郷里なる黃海道信川郡淸溪洞を發足し安奉線によりて同七日旅順に着八、九、十、十一の四日間同地に滯在して重根に會見したるが其二日目の會見を爲したる際右ヘルム氏は安に向ひ世界の平和的偉人を殺害せし罪惡を責め且つ導今日に至り如何共詮方なければ今は唯だ後悔の涙を呑んで天國に歸せよと說きたるに遂に重根は洪神父の言を諒容し悔恨の涙滂沱として語るらく伊藤公を殺害せしは今日に於て思へば事の罪深く惡しかりけるよ遙莫斯科は私怨の爲めにあらず國家的觀念より兇行を敢てしたるものなれば私に以て快と設したるが日本人は邦家の柱石なる伊藤公を自分が殺害せしにも拘らず其取扱ひの丁重に亦至れり盡せるは感佩堪く能はざる處なりとて之れを嘆稱し結へて十一日別れを告ぐるに當り洪神父は カトリック教最大の禮としてパン及び洋酒を天帝に捧げ其パンを安に與へて曰く汝の罪惡は之にて消滅したれば潔淨無垢なる人物に歸して深く刑に當りて悔へと說教したるに安は大に打ち歡びつゝ今自分の爲用せる衣類は伊藤公を狙撃したる罪惡の血潮が附着し居れば此上の御慈悲に願はくば淸淨無垢なる白き韓服を送附するよう郷里に傳へられたしと願み韓人は日本人の見るが如く法懦の者にあらず自分の兇行を敢てしたると同一の觀念を抱けるもの多かれば今後共日本人の胸中に此感を銘記せられたしと語りたり之に因に安の從弟安明根は洪神父に會見の結果旅順に行かず一昨十三日歸郷せり

船舶法と約定書

韓政府は十四日船舶法船舶檢査法船舶積量測度法の三法律を發布せり右に就き光武九年八月十三日吾が公使と韓政府との間に訂結せる韓國沿海及內河航行に關する約定書は船舶法の規定と均衡を得ざる條項あるを以て該法律の効果を全からしひる爲め韓政府は統監府の承認を求め約定書の第二條第二項を削除し第三條を『日本船舶は韓國法令の定ひる處に從ひ韓國船舶と同樣なる船舶を韓國旗に納付す』と改訂し右諸法律施行の日より實行せしひる事となれりと

遣韓隊と年交代

韓國派遣隊は從來二年交代なりしが二年兵役制實施以來斯くては新入兵をして充分教練を施すの遑なきに隊隊となり殊に備編入後到底有事の用に耐へざるを慮かり今後は滿韓共に一年交代となし且つ之が編制も可成各隊より混成し特種組織の下に派遣すべしと云ふが爲めに渡邊少將の率ゆる臨時遣韓隊も來る六月を以て滿一箇年駐劄に就き同時に交代あるべしと

●實業學校設置方針

本年學部に於ける實業學校に關する施設は既報の如く大邱、牛壤、全州及咸興に各獨立の實業學校を設立せしめ學部特別指導の下に比較的完全なる實業教育を施さしひる爲め此四校に對しては學部より經費の內へ六千圓以內を與ふることゝし既に大邱、平壤、全州の學校には去る十一日設置の許可を與へたるが此外光州、晋州、海州、公州にも前四校に次ぐべき獨立實業學校の計畫あり是又學部より相當の補助を與へ其の計畫を遂行せしひる筈にて以上の外既設の實業學校は官立に仁川、公立に釜山、定州、濟州島、私立に會寧咸興の數箇所あり

●漁業法周知の方法

農商工部に於ては昨年四月より施行せられたる漁業法を韓人に周知せしひる爲めに從來種々の方法を施したるも未だ知の者多く其爲め三月一日までに出願

群山、統營其他數箇所下嗣、於蘇洞に、實業月より開始する由なる始まるべき全國土地調べき測量技術員、中務にて施設する由にて下の要員を養成する爲め官外國語學校及大邱實業部養成機關を臨時設置する

●度量衡販賣者

韓政府度量衡法の發布以來其の販賣許可を出願せしもするものあり誤りたる出願者多數にして當局者も其の繁に堪へざれば今後出願せんとする者は充分同法を咀嚼して爲す可く然して度量衡器の種類は夥しき多數なるが是は種類別に依るに非ずして販賣者の指名あれば其者の販賣範圍內の何種類を問はざるものなれば出願者は此邊の注意最も肝要なりと

●大韓教會報と當局

名を布教に藉り不穩の輿論を逞ふせるアンダウード主催大韓協會韓に就ては當局者は右は其配下に屬せる韓人の所爲にして感交を煩せざる彼の與り知らざる處なればとて暫らく之を寛大視し尙ほ續行するに於ては一歩も假借せず嚴重に之を取締るべき方針なりと云へるが元來米國に於ては宣教師の政治に干與するを嚴戒し政府は之が爲めに重要なる訓令を發したる事あり斯かる次第なれば此頃在京中の布教總監曾ハリス博士の如きは彼の暴論を見て眉を顰め痛く其不法頑迷を嘆息し居れりと

●財產整理局の存續

土地調査局官制は愈〻一日中の官報を以て公布直に開設せらるる可き筈なるが之と同時に臨時財產整理局は當然廢止せらるる可きやに傳ふるものあれども確聞する處によれば該局の國有財產の整理を爲さんが爲め設置せるものにして今回新設の土地調査局とは其目的を異にせるを以て全然廢局するまでには尙ほ多少の時日を要すべし現に導常の所管に屬せる國有田畑の如き未だ何等の整理を遂げ得ざるを以て之が完成を見るまでは依然該局は存續す可く唯其規模に於ては多少縮小を爲すべしと

●免許漁業會の審査

別項記載の如く菊地商工局長は今十五日歸京するを以て農商工部にては十六日より免許漁業審査會を開き漁季の迫りたる分より漸次處分すると云ふ

●開城出張所の引繼

韓銀開城出張所は今回廢止せられ營業一切は該地漢銀農工銀行支店繼承し過日度支部吏員立會の下に引繼を了せり

●水雷艇の仁川出港

仁川港に碇泊中なりし雲雀、鶯は十二日午前八時旅順へ向け錨拔せり

●早大校外生募集

常に幾万の校外生を有し、教育界第一流の博士學士數十名を講師とせる『早稻田中學講義』は多大の刷新を

圓等を

き本年の治

に就きて當局間に於ても隨二途に岐れ一は京城街路改正に當てんとし一は地方一般の治道に充てんとの意向なるが前者の說に據れば今日に於け京城街路は極て不規則にして發展に伴はず是が改造を要するは極て急設の事なるのみならず今日過渡期に於て是が改造を緩ふするに於ては土地騰入の上に於て益不利の地に立たざるべからず云々一面地方說は例により農民の窮苦を極に頻りに急切を主擅せり如是所說各其見を殊にし其何れに決定さるべきやは明かならざれども當局は既に詳細を統監に具し今は唯だ統監の意見一つにて其何れかに決定さるべき筈なるが當局間に於ても京城設願る勢力を有せるが如き狀況なれば或は本年度より京城市街改正の擧を見るに至らんか尙ほ假令ひ京城設にして採決さるゝに至るとも費用全部を悉く京城に支出するにあらずして其幾分は無論地方治道にも

●西藤軍大將入京

源雄氏は十三日入京浦尾旅館に投宿す

●戶田忠正氏入京

平壤區裁判所判事の同氏は十二日入京不知火旅館投宿

●西裁判所長入京

平壤地方裁判所長の氏は十二日入京不知火旅館に投宿

●有本辨護士入京

鎭南浦なる有本源次郎氏は十三日入京山本旅館に投宿

●庵谷忱氏の入京

安東新報記者の氏は十二日入京京城ホテルに投宿せり

●武田少將の歸任

入京中なりし平壤に歸任す

●沖田錦城氏の訃

曩に大邱新聞紙營中氏野理事官と衝突の結果退韓處分の不幸に遭ひたる沖田錦城氏は此程より病氣に罹り郷里佐賀にて靜養中なりしが遂に去る九日死去したる由

龍山通信（十四日）支局發

▲既報茶る二十七日東京に召集の豫定なりし師團長會議は四月五日延期され隨て木越錦六師團長の上京期も變更されたるが期日は尙未定▲鎭南浦行連絡船は去十二日より京義線直通列車と接

のである、彩色

が大切と見へる、彩色

ねばならぬのかしら▲京城取引所を設置する由は既報せしが右は事實に近づき去る十三日の夜其發起人會を開いた而して取引物件の種類は有價證券、米豆、麥其他牛皮、棉布、棉糸等で既に申請の手續を爲たそうだ▲李準宰、閔泳禹等が伊藤公の銅像を建設せんと運動せる由は屬々報じたが彼等の爲す事は殆ど誠實なく且つ據金大部分を入費に算入しあるを以て其筋にては不許可としたにも不拘彼等は他充之を建設せんとて曩きに神戶市民の爲め引き揚り廻はされたる伊藤公の銅像觀察の爲め近々渡日するそうだ、シッコイ銅像屋共ではある哩▲日本の第一艦隊は遠くヒリッピン附近迄遊戈し、北米電報は亞細亞艦隊の新組織を報導す、而して米國觀光團は續々として日本に來る、世の中は薩張り解からぬ、解からぬ處

諸人看板製作　油繪背景畫●硝子金文字入ペンキ塗工事大勉強請負　赤門通り　永樂町二丁目　椹野工舍

妖婦櫛卷れ銀（一）

滿韓遊歩は元より米本國を荒せし女

去る頃より東信管理局の官舎を左に見て、老人亭の片邊りに油氣のなき洗ひ髪を束ねて結んで背に垂れ赤縞双子の半天と伊達巻姿の上に羽織り居る肱を張る懐中手の繊嫋〳〵と雪駄穿きにて今日此頃のまだ寒風を何處を吹くかと云はぬ許りに女だてらの傲然の態度は頗る赤らめて徐ろに其處等邊たりを散歩する

一癖あり氣の**女**あり容顔元より嫌を作り一廻眼尾を轉ずれば百眉生ずる艶の妖婦の本來面目にして品もあれば一笑の皓齒正に千金の艶は競う國貿はさまざまに一瞥以て石部の金さんを惚殺すべき程の力あり左れど一度彼の女の**額邊**を幽かに横ぎれる**一線**の**刀痕**に想見せば慄然として冷汗腋下を浸すの感あるべし抑もや此の女何處の何者にして是れが額邊の刀痕の**由來**や**奈何**先づ徐に彼の女が既に歩の歴史に遡つて記さん

去る三十五年中の事門司港の沖仲仕所謂**權藏**と呼ぶ不頼漢等の中に立交じりて**怯す臆せず**男仕事の荒業を稼業となして人に知られたる**銀**と云ふ女あり當年の年齢漸く十八歳當時まだ山家育ちの垢抜はせねど持つて生れし容顔は忽ち評判の種となつて何じろ對手は酢でも蒟蒻でも食へぬ荒男共の袖引き袖引く者數限りなけれど流石後には**南洋**を股に掛けて**櫛卷れ銀**と迫唄はるゝ程の女だけ其時既に蛇は寸にしての氣を現はし寄る者片つ端しから彈ねて退ける見幕に一つは人に遺るまじの共喧嘩の爲め漸く鬼に食はるゝ憂を免れしのみか何日しか姐御と謂れ云ふ共なく**意氣**な者稀さへ寵せらるゝに至りたるが時しも型三十六年の三月の事れ銀は毎の如く冲仕事にと出懸けし先は厳洲航路の其丸にて是れぞれ銀が**出世の因**と云よは丁度れ銀が仕事中フトその艶やかに凛どせし眼光に想ひを寄せし同船の船長**メリー某**と呼ぶ米人

只者ならぬぬ早くもメリーの胸中を見て取り落花流水の情を示せばメリーも夫れと首肯きて遂に其の夜兩人は劃なき型日出帆の其の夜となりければ愛てより斯く〳〵**怨うと心**に組みれ銀の**計畫**僅かの金を渡されし位にては其後濟す啓あるべき遂に其夜は船長室に泊り込み青せ腰せど動かばこそ夜は翌けて出帆間際となりけれど矢張り埒は事實にて確と間違ひなき事荒刺然せしより怒るまい事か數々兩人を賞め上し果て女は七十何圓と云ふ金の賜りし事故陰方なく船長は只ッた今出て往けと云ふ宣告に何と云ひ聞の爲も仕方なく兩者目と目で別れて放逐されしはつい四五日前の事也と

契りを結ぶに至りたり斯くて此一向に氣の附かざりしが阿濃が油に何とやら度重なるに纏つて何日か梅ちやんと板場さんとは怪しいと云ふ噂が人の口の端に立ちよりさらでも語かぬた内儀の何として聞捨てになし置くべき遠剣兩人の訊問開始と相成つたが矢張り噂は事實にて確と間違ひなき事荒刺然せしより怒るまい事か數々兩人を賞め上し果て女は七十何圓と云ふ金の賜りし事故陰方なく船長は只ッた今出て往けと云ふ宣告に何と云ひ聞の爲も仕方なく兩者目と目で別れて放逐されしはつい四五日前の事也と

初一念漸く

全北の火事

▽家屋三十二戸焼失す

全羅北道警察部長より去る一日高山郡東上面ッック里に出火あり家屋三十二戸焼失韓人男二名及び家畜六頭に至りたり是ぞれ銀が其の芽を吹きしなり

日韓大懇親會

▽來會者無慮三百餘名

仁川日韓人大懇親會は一昨十三日午後三時より八坂樓に於て開催されしが會せし日韓官民の數は三百餘名に達し先づ萩谷善夫氏は發起人を代表して開會の辭を述べ次で金府尹及び韓人商業會議所書記長韓相愚氏は一場の所感を語り四時より開宴せしが數十名の日韓妓の舞踊及び伊東文夫一派の客附に係る奏樂等あり互ひに胸襟を開きて融和し散會したるは午後六時頃なりし

燒死

したる冒其筋へ電報ありたり

●**日韓戀のしがらみ**

▽女は酌婦男は韓人の板場

太平町通りの二葉亭と云ふは主婦の無情が種となつて三面の御厄介となりし事も一再にあらざるが其の二葉亭に梅子と云ふ酌婦あり可く稼ぎ可く客を曳く間こそ内儀の機嫌も納まらざりしが去年末より病氣に罹りてよりと云ふは丁度七十日か間枕の場らぬ次第となり隨つて樓主側の扱ひ方も漸くにして慘酷となり梅子は始終墓なき身を嘆きて病床に泣き暮し居たりしが茲に同樓の板場職を掌どれる日本通の青ハあり這奴中々氣の利きし男にて樓子が梅子に對する薄情を見て陰に廻つては彼れ是れ梅子の世話となし居たりし處人の情に渇し居たる梅子は其の親切を身に泌々嬉しく思ひ何日しか互ひの眼附が替り遂に制なき仲ではなれり斯かる事とは樓主を始め他の酌婦

●**身から出た錆**

廣島縣豊田郡岡海町の藤原又吉（二）と呼ん石工は一昨年渡韓以來定州にて津田組の配下なり就業中の處冬季結氷となるや工事中止となりしより何とか就職の道を講せんものと一昨年十二日入京せしも一厘の持合せもなき爲め止宿する事さへ出來ざるより保護方を南署へ申出でたれど取調の結果は有る時任せに使ひ果せし果ての身から出た錆と解り厚く説諭されて翌朝立去らしめたりとは因つた男なり

●**御苑拜觀**

御苑内の博物館動物園植物苑の設備結に就春陽の好氣節なるを以て來る十九日（土曜）午後二時より官民の重なる者に拝觀を許さるゝ由にて宮内太臣より夫々案内狀を發せられたりと

●**五雲會**

同會にては例の如く來る廿日の第三日曜日を下し同日午前十時より大和町梅の家に於て第三十九回目の能狂言開會の由なるが其の番組は左の如しと

▲嵐山　田中氏、ッ寺田氏、油田氏▲朱女　中村氏、箱島氏▲朝長　波多江氏、ッ淺井氏、吉住氏、ッ武川氏▲薩長氏、秋山氏▲百萬　野村氏▲薩川氏、滋谷氏▲葵上　島氏、ミ増戸氏、見島氏、松寺氏▲善知鳥本田氏、母安西氏、加納氏

●**酌婦の健康診斷**

南部署管内の料理店飲食店の仲居酌婦健康診斷の結果は仲居五十三名に對して有毒者二十四名酌婦三十二名に對して有毒者十八名面して入院を要する者は仲居十一名酌婦三名なりしと

●**土曜日曜の新町**

同廓土日兩曜の登樓客は二百一名にして其の消費金高は一千七圓五十三錢なり

●**迷子**

一昨十三日午後二時頃明治町二丁目村田雑貨店前に四歳位の小兒迷兒となり居しを發見最寄り交番にて保護中の處同六時に至り其の引取人判明し引渡したるが右は同町三丁目小林重吉の小兒なりし由

●**演藝會の矢士招待**

京城高等演藝會にては十五日午後六時より龍山第十三聯隊兵士を招待し其勞を慰すべしと

目と耳

▲**壽座**

初日以來より大好評を拍し居れる同座の大坂新喜劇會我廼家一派明日の替り狂言は左の通りなり

一番目　御祝儀乗合船　一場
二番目　意外の折箱　二場
三番目　初戀の英文　三場
四番目　忠臣蔵　幕なし

（大序より七段目迄約四十七分間）

同座本晩の替り狂言は「壯夫の犯罪」を題する通し物にして其の役割は左に

中山憲兵（伊井）書生（花井）藤者染葉（桂木）船頭禿助（田中）繁樹豊之助（高島）車夫善吉（上田）金太郎（巡査（瀬）車夫光田）善吉妻（三好）江口憲兵、野々村代議士（美崎）清水（瀬川）

▲**仁川歌舞伎座**

同座本十五日の伊東文夫一派の替り狂言は「一番目「正直者」二番目「は れ得意の「土屋主税」なりと

●**淨土宗の青年會**

本十五日午後七時三十分明治町淨土宗開教院に於て例の如く青年會講演開會の筈なるが其の演題は「慰藉なる生活」水谷開教使「自己の威想」會友の一人なりと因に來る十九日が第三土曜なるも都合によりて本日に繰り上げたる由

▲十三日の午後八時より九時迄の間南大門驛一等待合室に陣取つて乗人の目を躍らしめたる美人の一連があつた此所に云ふ美人は所謂新聞美人であるから其の心算で賴んで戴きたい▲藝者にしては容貌が美過ぎる仲居にしては服装が美過ぎる女房かと思へば左樣でもないとして見れば淫賣婦に相違ない▲丸いのがあり長いのがあり低いのがあり低いのがあり各人各樣なる其の美人連の鼻の中に一つ丈け隨子のないのがあり如何に腰氣に向ふたからとて鼻の隨子まで取り外すとは少々氣が早いなされ方ハナハナ殘念至極であるが而して其の夏向鼻の所有者は赤豆色の縮緬三つ紋付を着て御座つた▲丈けでは判るまい此の紋付たる仲間の共用品であるから明日は又蹴れが着て居るやら判つたものでない然れば其の抱へ主の名と當人の姓名を申し上げた方が確かであらう▲抱へ主は太平町の二葉亭フガフガは……フガフガは……何も怨みのある理由ではなし夫れまで

壽座の曾我廼家

▽命の洗濯には持て來い

去る十二日より壽座に開演せる喜劇界の御大曾我廼家五郎、十郎一座より分離したる朝比奈、辨慶一座は弗常なる好人氣を以て迎へられつゝある同座の特長と云ふは彼の新俳優の演る喜劇の如く單調ならず又二〇加の如くクダラズ其中間を通つて科白で笑はせる演じ眞面目に演じて科白で笑はせる云ふ一種の妙味である、殊に演物は何れも本家の曾我廼家種なれば作に於て遺憾なく、藝と、藝辭と、筋とに依つて自然に觀者の頭を解かし決して野卑なる言辭を弄し、徒らに滑稽のみを敢てすると云ふものでない、既に演じた中にても雪姫物語り、式三番叟暗闘、盤坂祐は頗る振つたもの殊に昨夜演じたる忠臣蔵の如き確かに四十七分と五十秒で序幕より七段迄を通す抔は、其の作の好妙なる感服の至りである、兎に角理想的好劇を觀る能はざる當地抔で

共進會團体參觀者募集

本月自十一日至五月九日　日韓岡開催
自十六日至六月十三日名古屋
賃金半額其他便宜希望者至急申込あれ
旭町一丁目四六民團役所横理髪所松井

●**三月十五日**　本町五丁目　二一館料飯

●**三月十五日**　本町五丁目　二一館料飯

●**三月十五日**　本町五丁目　二一館料飯

▲無料紹介欄▼

人事部

●店員雇入 十四五歲の者希望者事業該あれ日の出町下山商行（電一〇〇七）

●小供入用 鶴山元町三 日韓組米店（電三四三）

●被雇度 但十五歲以下至急入用 三十四歲貨物取扱及通關手續に熟練あり多少英語を解す者魁又は商店請官術を望む 氏名在社（〇）

●農園 野菜類 協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

物件部

●電話讀渡又は貸付 丸何〇番直接面談に限る 本町四 發化堂藥店

●貸家 卒家一戶建間數四間及長家一戶間數三間場所南大門外吉野町 電話一二四二番方 ないとう

●元貸卒家 總坪十五坪乃至十八坪の家至急貸入ひし 電話七四番へ

●貸貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温厚ならば最佳 氏名在社

●樟葉書讀渡 日韓家使用紀念樟葉書安價讀渡ひし 氏名在社（九）

廣告

京城西小門通六番戶

入院隨意 電話改番 一三一五 菅醫院

早稻田大學講義錄

●本大學講義錄の特色を見よ！

▲教育界第一流の名士が責任を負うて執筆したる無雙の講義錄

▲教授法は本大學多年の經驗に基き最も斬新にして懇切を極む

▲文章平易、趣味豐富、假名附きなれば何人も容易く讀み得べし

▲質問掛を特設して懇切に質疑に應答し毫末の遺憾なからしむ

▲校外生及び修了者は本大學の入學其他に多大の特典を得べし

入學金不要

新學年開始 校外生募集

（第五回）

早稻田 中學講義 貳年修了

●每號の附錄として掲くる「新天地」には有益、斬新、多趣味の記事充滿せり

▲新時代の青年に完全なる中等教育の素養を與ふ

●現代和洋諸色の苦心に成れる美麗の圖畫を每號の口繪として掲載す

▲文部省令中學校教授細目に準して組織的に學課を編成す

●講義錄中の難語難句術語地名人名等には懇切なる說明を附し編習に便す

四月三日發行

（第六回）

早稻田 商業講義 壹年半修了

●美麗なる寫眞又は商業書式（小切手、手形、證券等）を每號の口繪に掲載す

▲商業教育の素養を與へ活商人を養成する機關

●商業雜誌に等しき有益多趣味の附錄「小天地」を每號の講義錄に添ふ

▲商業經營に必要なる學課は悉く之を網羅したり

●評細なる懇切註釋を施して難語難句術語等を說明し聊の遺憾無らしむ

四月十一日發行

臺灣國民教育は五月開始す 政治經濟科 文學科 隨時入學を許す

●無料 見本と規則書 送呈

東京早稻田大學講義部 東京牛込稻田

綿わた綿ワタ

たやすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

京城明治町一丁目四ッ角

卸問屋 唐川商店

電話二六一番

世界一の藥 アンチピリン丸

ねつ・はやりかぜ・づうりうまちすに大効あり

藥價 五錢、十錢、十五錢、廿五錢

發賣元 大阪心斎橋三丁目 丹平商會本舗

東京日本橋通五丁目 丹平商會

神戶資生分院

京城相生町（南門湯橫）

◎花柳病專門並痔注射療法

●入院隨意 院長 醫學得業士 薩田 鮮平

（電話一二九四）

京城梅毒病院

中島醫院

入院隨意

京城壽町三丁目（電話三七八番）

院主醫學得業士 中島貞信

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾五萬圓

京城南大門通

株式會社 十八銀行 京城支店（電話四二〇）

韓國 日本 貯蓄預金（利息日步壹錢二厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

本店 京城、龍山、長崎市編町

支店 仁川、釜山、元山、木浦、鎭州、群山、出張所 大阪、諸本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

營業科目

隨官衙御用品調達

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

委託販賣

東京ランバーグ商會代理店

東京中外アニアルト株式會社代理店

東京平代田生命保險相互會社代理店

藤田合名會社

東京博文館發行書籍特約店

東京金港堂發行書籍特約店

滋賀縣合資會社食鹽特約

本社 東京市麻布區三町目（電話明治二〇三番）

出張所 東京市麻布區十番橫町一丁目（電話南二六三番）

東京牛乳

京城大和町一丁目 電話一二三番

大上商店

特約販賣

味噌醬油製造元 漬物問屋

京城本町五丁目

自製食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本物產、和洋酒、精酢、穀物麵類、銘茶、鏑詰、乾物荒物各種特約販賣

御用命に依り商品切手調進仕候

（電話二五一番）

紙と印刷

諸官衙御用 諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本

播本商店（ハリモト）

京城本町六丁目 電話百拾番

岩田仙宗

京城明治町二丁目（佛國教會前）

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗

電話三五四番

資本金 一千萬圓

積立金 五百四十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店

電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大坂、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、釜山、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

東京

足袋

本店東京 京城大和町一丁目（日の出橋際）

大和屋 藤井出張店

電話二百〇五番

明治町勸商場內ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

京城ホテル

京城南山町（元日本人倶樂部跡）

長電話一二三番 電話四九二番

大韓醫院御用藥

京城光化門通 大島專藏

●大韓醫院御用藥

韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

消化ヂヤスタリン 錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢 散劑一オンス入一瓶一圓二十錢

消化膀胱ヂグスチン 錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢 散劑一オンス入一瓶一圓四十錢

右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲噴々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候

各地有名なる藥店に於て販賣す

胃腸消化新劑

京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島專藏（電話四百十三番）

韓國銀行

電話 本店用 一、三三 電話 當用 一、二二 電話 直用 一、二二 電話 皮用 一、三三 電話 係 一、三三 電話 客用 一、三三 電話 來用 一、三三 電話 臨時 一、三三 電話 總務部 二、六一

支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、安東縣、

爲替取引先 東京、大阪、橫濱、神戶、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大銀町、大坂西區、松山（以上日本）釜山、公州、光州、晉州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州（以上韓國）大連、（滿國）

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

齒科治療

ドクトル 中村安子

本町六丁目（鏡もち橫町）電話一五八三番

-232-

美術半襟帶締其他紐類各種 京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 ふり德商店